

自然環境の回復をめざすリジェネラティブ農業の実践 たねやグループ 田植え開催のお知らせ

菓子製造販売を行うたねやグループで農藝を担当する株式会社キャンディーファーム（滋賀県近江八幡市、代表取締役社長：やまもとまさひと山本昌仁）はリジェネラティブ（環境再生型）農業を実践するプロジェクトを開始し、2023年6月3日にラ コリーナ近江八幡（近江八幡市北之庄町）前の田んぼにてたねやグループ従業員やプロジェクトメンバーとともに田植えを行います。

ラ コリーナ近江八幡では「自然に学ぶ」のテーマのもと、2015年より農薬を使用せず人の手で行う農業を行っています。お米や小豆などお菓子の素材は農家の方が大切に育ててくださった“自然の恵み”。たねや・クラブハリエの従業員が素材を見つめ、深く知る「学びの田んぼ」としてお米作りを続けています。リジェネラティブ農業プロジェクトを通して多彩な人々つながり、いのちを育む“土”をよみがえらせ、人や多くの生き物が豊かに巣立つ場所となることをめざします。

・“懐かしい未来のはじまり”プロジェクト

“懐かしい未来のはじまり”プロジェクトはたねやグループの「学びの田んぼ」の経験を活かし、より広く“農”の研究と可能性に触れる取り組みとして2023年2月に立ち上げました。新しい技術を取り入れながら、土壌の修復・改善、周辺の生物多様性の保護や保全を通して自然環境の回復をめざすリジェネラティブ農業の実践と研究を進めます。

今回、田植えをする田んぼの水には微細な泡によって土壌中の残留農薬などの排除が期待されるナノバブルを使用しています。田植えを行った後はお米作りとともに水質や生物調査を通してナノバブルの効果についても検証を行う予定です。

【プロジェクト内容】

- 農薬や化学肥料を一切使用しない、自然の力を利用し環境負荷をかけない米作りを行う
- 自然の力を再生させる農を目指し大学、企業、地域の人々など多彩な人材とともに実証を行う
- 米作りを通じて生物多様性を豊かにする

【プロジェクトメンバー】※敬称略

- ・長島孝行（ヤマザキ動物看護大学 動物人間関係学科長・教授）
- ・玉置雅彦（摂南大学 農学部 農業生産学科 作物科学研究室 教授）
- ・川端鋭憲（特定非営利活動法人生命科学技術普及センター 理事長）
- ・川嶋舟（東京農業大学 農学部 デザイン農学科 准教授）
- ・上原佳織（東京農業大学 OG、サイエンスコミュニケーター）

【協力企業・団体】※敬称略

- ・株式会社 日吉
- ・滋賀県立琵琶湖博物館

・田植え概要

- 日時：6月3日（土）9:00～12:00、14:00～16:00
※9:10ごろよりオリエンテーションを行います。
※終了時間は前後する可能性があります。
※雨天決行。悪天候の場合、急遽予定を変更する可能性があります。
- 場所：滋賀県近江八幡市北之庄町 615-1 ラ コリーナ近江八幡前
- 品種：キヌヒカリ

会社概要



▲ ラ コリーナ近江八幡



▲ 「学びの田んぼ」田植えの様子



株式会社キャンディーファーム
所在地：〒523-8533 滋賀県近江八幡市北之庄町 615-1
たねやグループ URL：<https://taneya.jp/>

【取材に関する問い合わせ先】
たねや・クラブハリエ 営業部広報室
TEL:0748-31-3844 E-mail:press@taneya.co.jp

※取材いただける際は、事前にご連絡頂けますようお願いいたします。

